

香川県内国宝・文化財木造建築物のシロアリ被害について

松沢 寛・宮本守也*・鎌田成之**・安藤俊昭***

(香川大学農学部応用昆虫学研究室)

On the damages of the old wooden-building designated as the national treasures
or the national properties caused by termites in Kagawa Prefecture, Japan

Hiroshi MATSUZAWA, Moriya MIYAMOTO, Nariyuki KAMADA
and Toshiaki ANDO

(Laboratory of Applied Entomology, Faculty of Agriculture, Kagawa University)

国宝、重要文化財建造物のシロアリによる被害は、今全国的な問題になっており、文化庁は今春(1971)各都道府県に対し、緊急実態調査を指示した。香川県教育委員会社会教育課はそれを受けて直ちに緊急シロアリ調査を企画し、われわれ4名の者が実際の調査にあたることになった。この調査は、本年6月から8月にかけて実施したわけであるがその概要は以下の如くである。

本県で問題になる建築物加害性のシロアリは、本邦西南暖地の諸府県と同様に、ヤマトシロアリ *Reticulitermes speratus* Kolbe, イエシロアリ *Coptotermes formosanus* Shiraki の2種類であるが、今回調査した国宝、重要文化財建造物の現旧シロアリ被害は、ヤマトシロアリによるものが大半で、幸い全般的には、中程度ないし軽度の被害であった。現旧いずれの被害もまったく認められなかった建造物は、覚城院鐘楼のみで、他は大部分ヤマトシロアリによる旧被害、一部は現在被害が進行中であった。現在明らかに生息加害の認められた建造物は、金刀比羅宮表書院(ヤマトシロアリ)、同奥書院(ヤマトシロアリ)、本山寺仁王門(イエシロアリ)旧金毘羅大芝居すなわち金丸座(ヤマトシロアリ)、小比賀邸(ヤマトシロアリ)の5件で、金刀比羅宮奥書院、本山寺仁王門の2件以外は、現在の被害かなり大で、緊急に防除作業を実施する必要を認めた。また、旧被害の建造物は、ほとんど、シロ

アリの被害のあとに腐朽菌が侵入して、腐朽もしくはそれに近い状態で、これに対しても、速やかなる防腐処置を講ずる必要を認めた。

ことに金毘羅大芝居は、雨洩り等の未処置放任がつづいたために、とくに四周の老朽、腐朽が甚だしく、将来遠からず他の位置への移転復元の計画があるとはいうものの、ここ1年原形を保たせうるかどうか非常に危ぶまれる。上述のように、この建物には、現在ヤマトシロアリも生息加害中で、近く倒壊はまぬがれないであろうが、倒壊したのちに至っては、絶対に真の復元は不可能であって、この際、当局関係者の特別な注意を促したい。

ここで、もう一つ注意せねばならないことは、指定物件の大半以上は現在シロアリの生息が見られないとはいっても、城内や境内の他の建造物、松その他の切株等にはヤマトシロアリやイエシロアリの大群が暴害を働きつつある現状で、前記覚城院といえども、決して例外ではない。したがって、国宝、重要文化財のシロアリからの保護を考え、施策する以上、決してかかることに無関心であってはならない。建造物は個々別々に離れて位置するとはいうものの、シロアリの行動圏である土はどこまでもつづいていることを忘れてはならない。近距離からの羽蟻の飛来侵入(香川県でのスワームの時期は、ヤマトシロアリ5月上旬~同中旬、イエシロアリ6月中下旬~7月上旬)もきわめて危険なわけである。今回の調査で、われわれは、すべての県下の国宝、重要文化財建造物が、シロアリの大群の中に危うく立っているといった感懐におそわれたのは、

* 香川県教育委員会社会教育課、

** 三共株式会社高松出張所、

*** 中村化学工業株式会社高松出張所

いつわりのない事実である。

今回われわれは、国指定の史蹟塩飽勤番所や香川県指定の民俗資料、文化財等もついでに実態調査したが、それらもそれぞれに問題があった。

以上きわめて大づかみに概要をのべたが、賢明なる当局ならびに県文化財保護委員諸氏のいっそうの関心

と注意をここに改めて喚起したい。

最後に、今回の調査結果を県指定の物件をも含め簡単な総括一覧表にまとめてみたので、個々の指定物件についての事情は、それを参考にしていただきたいと思います。

香川県内国宝文化財蟻害調査総括表 (1971, VI-Ⅷ)

指 定 建 造 物	被害・程度		シロアリ種類	その他の害虫	周辺の事情その他
	旧	現			
1. 丸亀城大手門(重文)	○中	—	イエシロアリ	キクイムシ旧害	城内樹木類にイエ・ヤマトシロアリの生息大
2. 同 天 守(重文)	○小	—	同	同	同
3. 高松城着見櫓(重文)	○中	—	同	同	城内はかつてイエ・シロアリの大生息圏(処置済み)
4. 同 良 櫓(重文)	○中	—	同	同	同
5. 屋島寺本堂(重文)	○小	—	ヤマトシロアリ	同	周辺にイエヤマトシロアリ多数生息
6. 神谷神社(国宝)	○小	—	同	同およびシガバチ害	同
7. 観音寺金堂(重文)	○中	—	イエシロアリ	キクイムシ旧害	他の建物その他にイエシロアリの生息大
8. 明王寺釈迦堂(重文)	○小	—	ヤマトシロアリ	同	周辺にイエ、ヤマトかなり生息
9. 国分寺本堂(重文)	○小	—	同	同	同
10. 金刀比羅宮表書院(重文)	○中	○中	同	—	周辺にヤマトシロアリ生息大
11. 同 奥 書 院(重文)	○小	○小	同	—	同
12. 本山寺仁王門(重文)	○小	○小	イエシロアリ	キクイムシ旧害	周辺建物イエ、ヤマトシロアリかなり多数生息
13. 同 本 堂(国宝)	○小	—	ヤマトシロアリ	同	同
14. 覚城院鐘楼(重文)	—	—	—	—	周辺建物、松切株等にイエシロアリの生息大 庭木等にイエシロアリ生息大
15. 常德寺円通殿(重文)	○小	—	ヤマトシロアリ	キクイムシ旧害	倒壊寸前、周辺も非衛生的
16. 旧金毘羅大芝居(重文) (金丸座)	○大	○大	同	同	周辺庭木等かなりヤマトシロアリ多し
17. 小比賀家(重文)	○大	○大	同	同およびコクガ旧害	現に雨漏り箇所あり、要注意
18. 旧恵利家(重文)	○中	—	同	キクイムシ旧害	同
19. 細川家(重文)	○中	—	同	同	腐朽部分大
20. 塩飽勤番所(国史跡)	○大	○小	同	同	付近にイエシロアリ多数生息
21. 猪熊家(県文)	○大	?	イエシロアリ	同	周辺屋敷内にイエシロアリ群生、巢もあり、腐朽部分、要補強部分かなりあり
22. 旧入江家(県文)	○中	—	ヤマトシロアリ	キクイムシ旧害	庭内にイエシロアリ生息
23. 白峰寺(県文) 阿弥陀堂ほか	○中	—	同	同	庭木、他の建物にヤマトシロアリ多数生息

指 定 建 造 物	被害・程度		シロアリ種類	その他の害虫	周辺の事情その他
	旧	現			
24. 西光寺船屋形茶室(県文)	○小	—	同	同	周辺イエシロアリの旧被害(処置済み) 前庭マツ樹、土蔵等にイエ、ヤマトシロアリ生息 ——
25. 肥土山舞台(県文)	○大	○小	同	同	
26. 中山舞台(県文)	○大	—	同	同	

参考：6. 坂出市松山町； 8. 小豆郡池田町； 12. 三豊郡豊中町； 14. 三豊郡仁尾町；
 15. 三豊郡仁尾町； 17. 高松市御厩町； 18. 大川郡大川町； 19. 大川郡長尾町；
 20. 丸亀市本島； 21. 大川郡白鳥町； 22. 木田郡牟礼町； 24. 綾歌郡宇多津町；
 25. 小豆郡土庄町； 26. 小豆郡池田町